

●平成 24 年度 長久手市地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案について

1. 協議会が目指す方向性

(1) 連携計画の概要

■長久手市の公共交通の将来像

- 市内交通の移動軸としてリニモと路線バスを活かし、Nーバスでリニモと路線バスを面的にカバーして移動利便性を高め、それらが一体となった使いやすいネットワークをつくる。
- 利便性の高い公共交通サービスを、住民・交通事業者・行政が協働で支える。

■地域公共交通総合連携計画の基本方針

- ①人々の生活を支える交通移動を提供し続ける
- ②それぞれの公共交通手段の役割を明確にし、互いに連携した利便性の高い公共交通ネットワークをつくる
- ③みんなで意識して、環境にやさしい公共交通利用を進める
- ④まちづくりと連携した公共交通体系をつくる
- ⑤PDCAサイクルで継続的に改善し、みんなで公共交通を支える

■地域公共交通総合連携計画の目標

目 標	指標	目標値	現 状（平成 20 年度）
「みんなで公共交通を支えるまち」の実現	公共交通利用者数	現状の10%UP	リニモ：約 16,500 人/日平均 名鉄バス：約 2,240 人/日平均 Nーバス：約 450 人/日平均
「人にやさしい公共交通のまち」の実現	公共交通の推進度	25%未満	「進んでいない」と回答した人の割合 27.1%
「環境にやさしい公共交通のまち」の実現	公共交通転換者	調査段階ごとの増加	—

■計画期間

- 平成 21 年度下期～平成 25 年度

(2) 計画事業

種別	主要施策と計画事業	実施主体			実施時期				
		市	事	県	21	22	23	24	25
バス路線再編	1) Nーバスの新設路線の実証運行	●			←	→			
	2) Nーバスの車両増備による運行本数増加の実証運行	●					←	→	
	3) 路線バスの再編		●		←	→			
利用促進方策	4) 公共交通の運賃体系見直しや乗継割引・ICカードの導入	●	●			←	→		
	5) 公共交通マップの作成	●					←	→	
	6) 周知・広報活動の強化	●	●		←	→			
調査	7) 公共交通利用実態調査	●	●			←	→		

事業主体一市：長久手市、事：バス事業者または交通事業者、県：愛知県

2. 地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス

2-1. 平成23年度までの取り組み

(1) 実施事業

平成23年度は、4つの事業の取り組みを行った。

① Nーバスの実証運行及びNーバスの車両増備による運行本数増加の実証運行

- ・平成22年度にバス車両1台の増車を考慮した見直しの検討を行い、平成23年4月1日から見直し路線にて運行を開始した。

② 公共交通マップの作成

- ・従来のタウンガイドマップに公共交通情報を盛り込む形で作成し、平成24年1月4日からの市制施行に合わせて発行した。

③ 周知・広報活動の強化

- ・バスマップ・ポケット時刻表やグッズの配布、市ホームページの更新、広報紙へのNーバス見直しの特集記事掲載、市役所の情報コーナーへの路線バスや隣接市のバス時刻表設置、藤が丘駅やリニモ駅へのNーバスのバス停案内掲示、市役所バス停での時計設置、Nーバス車内での交通安全ポスター等コンクール受賞作品掲示など、幅広く周知活動を行った。

④ 公共交通利用実態調査

- ・Nーバスの利用実態調査と住民アンケート調査を行い、取り組み効果などの把握を行った。

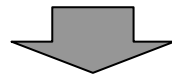
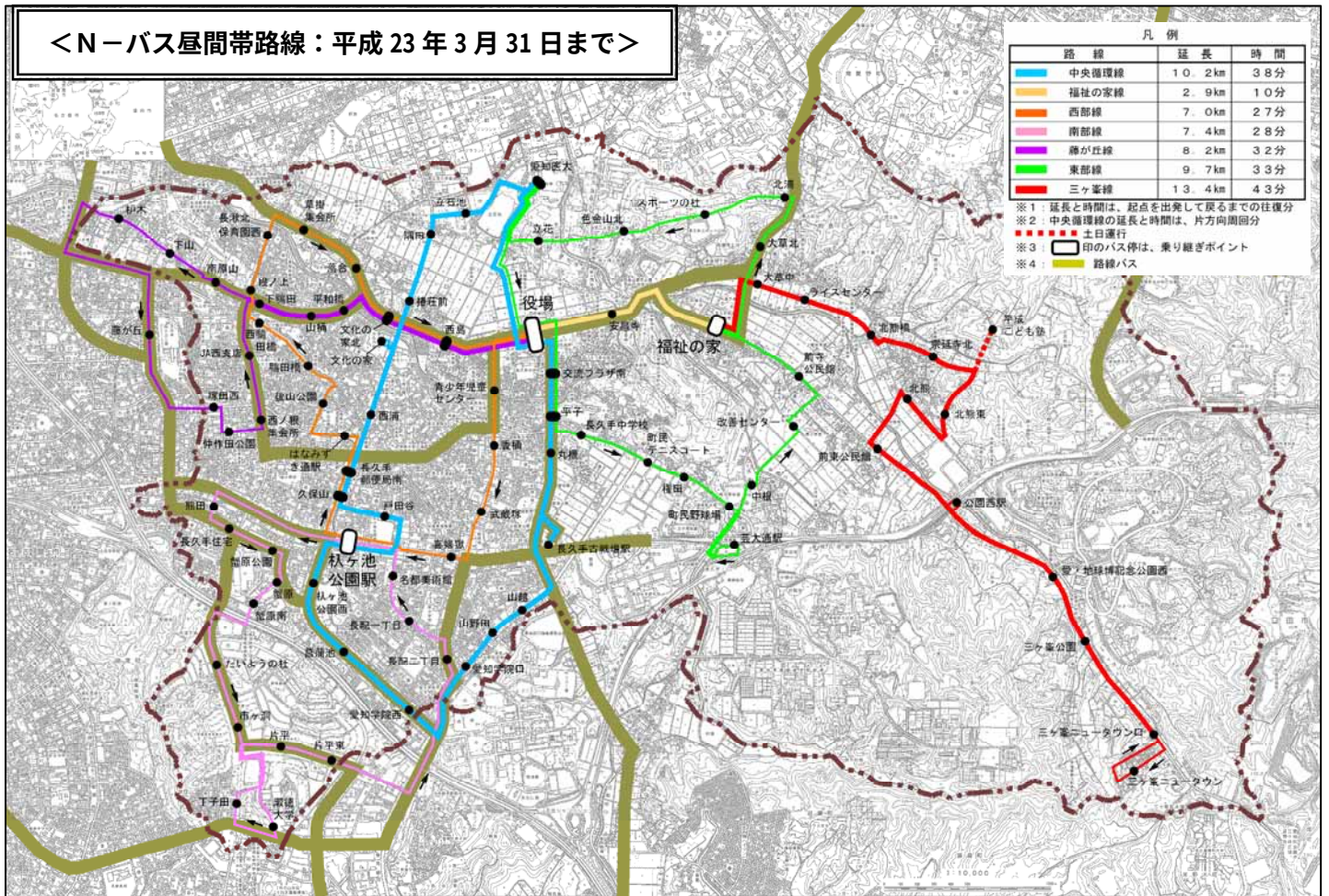
(2) 協議会の開催

- ・平成20年11月25日に「長久手町地域公共交通会議」を設置（平成21年5月28日に法定協議会の要素の追加）して、平成23年度は4回の協議会を開催し、実施事業に関する協議を行い、合意形成を図りながら進めた。

会議開催日	協議内容
＜第16回会議＞ 平成23年 6月27日(月)	・平成22年度長久手町地域公共交通会議決算案について ・公共交通利用実態調査について ・町内公共交通の平成22年度、23年度4・5月の実績について ・地域公共交通確保維持改善事業（生活交通ネットワーク計画）について
＜第17回会議＞ 平成23年 9月16日(金)	・公共交通利用実態調査について ・公共交通マップについて ・町内公共交通の6月からの実績について
＜第18回会議＞ 平成23年12月21日(水)	・地域公共交通活性化・再生総合事業計画変更に係る補正予算案について ・公共交通マップ（シティガイドマップ）について ・公共交通利用実態調査結果について ・市制施行に伴う長久手町地域公共交通会議設置要綱等の改正について ・町内公共交通の9月からの実績について ・広報活動について
＜第19回会議＞ 平成24年 1月30日(月)	・平成23年度地域公共交通総合連携計画評価案について ・平成24年度事業計画案、予算案について ・公共交通利用実態調査結果報告書案について ・市内公共交通の12月からの実績について ・地域公共交通活性化・再生総合事業計画変更分の状況について ・広報活動について ・生活交通ネットワーク計画について

ルート見直し

<N-バス昼間帯路線：平成23年3月31日まで>



<N-バス昼間帯路線：見直し後>

・三ヶ峯線の一部経由地変更
 ・バス停新設

・西部線を愛知医大経由に変更

・バス停新設

・始発便のみ芸大通駅行きを確保

・東部線を役場発着に変更

・南部線の双方向運行化

凡 例				
路 線	現在	延長	見直し後	時間
中央循環線	10.2km	→	→	38分
福祉の家線	2.9km	→	→	10分
西部線	7.0km	9.1km	→	27分
南部線	7.4km	7.2km	→	28分
藤が丘線	8.2km	→	→	32分
東部線	9.7km	→	→	33分
三ヶ峯線	13.4km	17.9km	→	43分

※1：延長と時間は、起点を出発して戻るまでの往復分
 ※2：中央循環線・南部線の延長と時間は、片方向周回分
 ※3：印のバス停は、乗り継ぎポイント
 ※4：印のバスは、路線バス

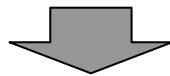
<バス停凡例>

- 印：現在のバス停
- 印：乗換えバス停
- 印：新設バス停：2箇所
- 印：反対車線に増設が必要なバス停：14箇所
- 印：朝夕便の効率化で廃止するバス停：1箇所

運行ダイヤ見直し

<平成 23 年 3 月 31 日まで>

ルート	起終点	延長 (km)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)
はなみずき線 ルート	安知駅	5.2	14.9	21	41.6	4	4	8													
中央循環線 (右回り)	中央駅	5.3	16.7	19	37.1	3	4	7													
中央循環線 (左回り)	中央駅	3.3	14.1	14	29.7	4	5	9													
福祉の家線	大塚中	4.3	12.9	20	34.4	3	5	8													
合計 (平均)		18.1	(14.7)	(19)	142.8	(3.5)	(4.5)	(8.0)													
中央循環線 (右回り)	役場	10.2	16.1	38	61.2																
中央循環線 (左回り)	役場	10.2	16.1	38	61.2																
福祉の家線	役場	2.9	17.4	10	46.4																
西部線	役場	7.0	15.6	27	42.0																
南部線 (右・左回り)	役場	7.4	15.9	28	74.0																
藤が丘線	役場	8.2	15.4	32	41.0																
東部線	役場	9.7	17.6	33	38.8																
三ヶ峯線	役場	13.4	18.7	43	71.6																
合計 (平均)		69.0	(16.6)	(30)	436.2																



<見直し後>

ルート	起終点	延長 (km)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)	所要時間 (分)
中央循環線 (右回り)	役場	10.2	16.1	38	112.2	+ 5 本	11														
中央循環線 (左回り)	役場	10.2	16.1	38	122.4	+ 6 本	12														
福祉の家線	役場	2.9	17.4	10	46.4	± 0 本	16														
西部線	役場	9.1	16.5	33	63.7	+ 1 本	7														
南部線 (右・左回り)	役場	8.0	15.0	32	56.0	+ 5 本	7														
藤が丘線	役場	8.0	15.0	32	64.0	+ 5 本	8														
東部線	役場	8.2	15.4	32	57.4	+ 2 本	7														
三ヶ峯線	役場	9.7	17.6	33	58.2	+ 2 本	6														
合計 (平均)		84.2	(16.6)	(34)	707.5	+ 22 本	(11.6)														

運行本数の増減

ルート	運行本数 (本／日)		
	現在	見直し案	増減
中央循環線 (右回り)	6	11	+ 5
中央循環線 (左回り)	6	12	+ 6
福祉の家線	16	16	± 0
西部線	6	7	+ 1
南部線 (右・左回り)	10	15	+ 5
藤が丘線	5	7	+ 2
東部線	4	6	+ 2
三ヶ峯線	6	7	+ 1
合 計	59	81	+ 22

※平成 22 年 4 月 1 日から運行していた朝夕便は、昼間便に集約。

公共交通マップ

おもて



うら

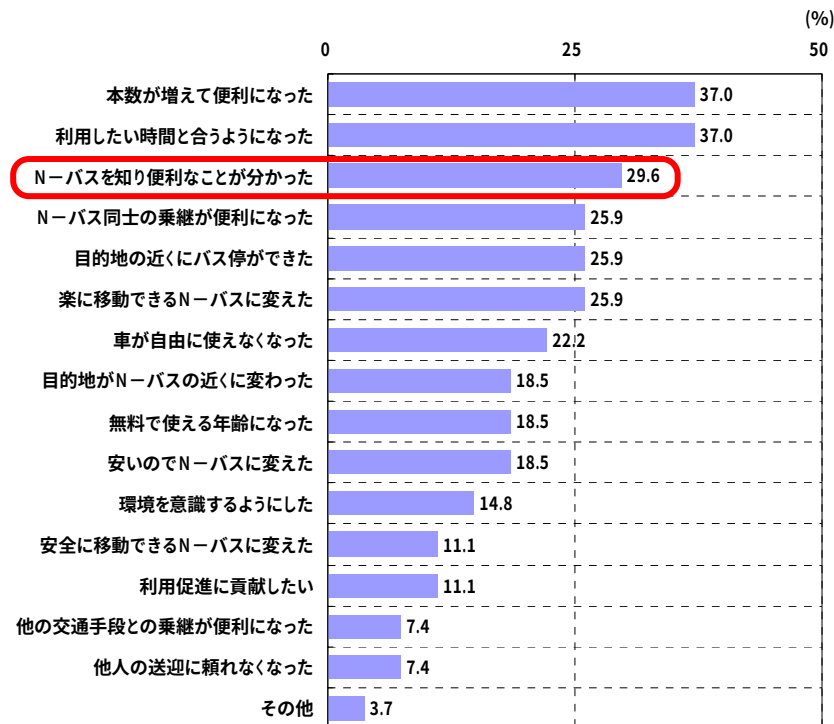


(2) 平成23年度事業の取り組みの効果と課題

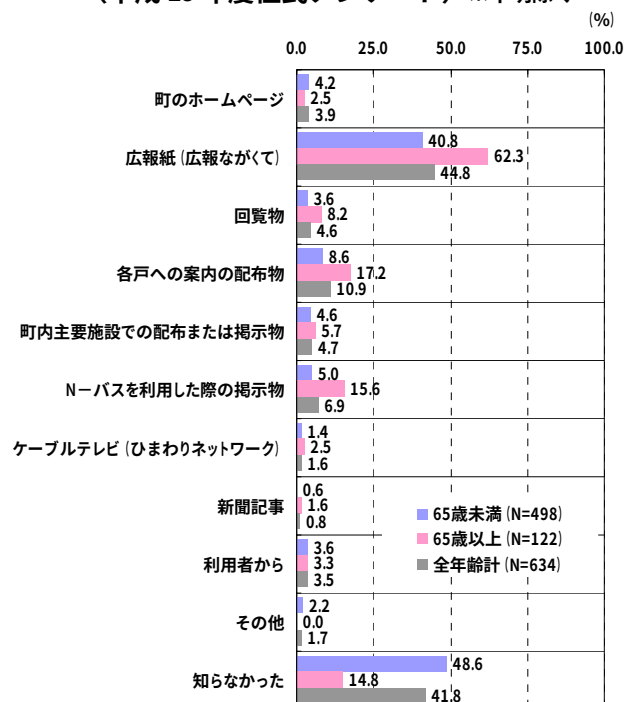
① 効果

- ・平成23年度の利用者数は195,032人で、前年度の167,404人に対し、約17%の増加となった。
- ・平成23年4月1日の見直し後の新規利用者の利用理由として、利便性向上に関する理由のほかに、「Nーバスの情報を知り便利になったことが分かった」理由が高かった。
- ・情報発信媒体として、広報紙が有力であることが明らかになった。

新規にNーバスを利用するようになった理由（平成23年度利用者アンケート）※不明除く



Nーバスの見直しを知った情報入手先 （平成23年度住民アンケート）※不明除く



② 評価

- ・連携計画の中間評価では、公共交通の利用者数について名鉄バスは未達成となり、公共交通の推進度は、公共交通による移動を便利にするための施策について『進んでいない』と回答する割合を 25%未満とする目標に対し、達成できなかった。

指 標 目 標	現 状 (平成 20 年度基準)	平成 23 年度	評 価
【指 標】 公共交通 利用者数 【目標値】 現状の 10%UP	リニモ 約 16,500 人/日平均	約 18,500 人/日平均 (12.1%アップ)	達 成
	名鉄バス 2,240 人/日平均	2,111 人/日※ ² (5.8%ダウン)	未達成
	Nーバス 約 450 人/日平均	約 530 人/日平均 (17.8%アップ)	達 成
	合計：参考値 約 19,190 人/日平均	約 21,241 人/日平均 (10.7%アップ)	(達 成) ※参考評価
【指 標】 公共交通の 推進度 【目標値】 25%未満	「進んでいない」と 回答した人の割合 28.1%※ ¹	29.5%	未達成
【指 標】 公共交通 転換者 【目標値】 調査段階ごと での増加	—	【公共交通の利用機会】 増えた：13.9% 減った：14.4% ※サービス水準を理由と する変化に限定の場合 増えた：8.6% 減った：8.1%	今回の結果を基準とし 連携計画の計画期間の 平成 25 年度までに 評価を実施

※ 1：今回のアンケート調査との選択肢の統一を図るために、出典元の長久手町住民意識調査（平成 19 年 3 月）の値から、無回答を除いた場合の比率

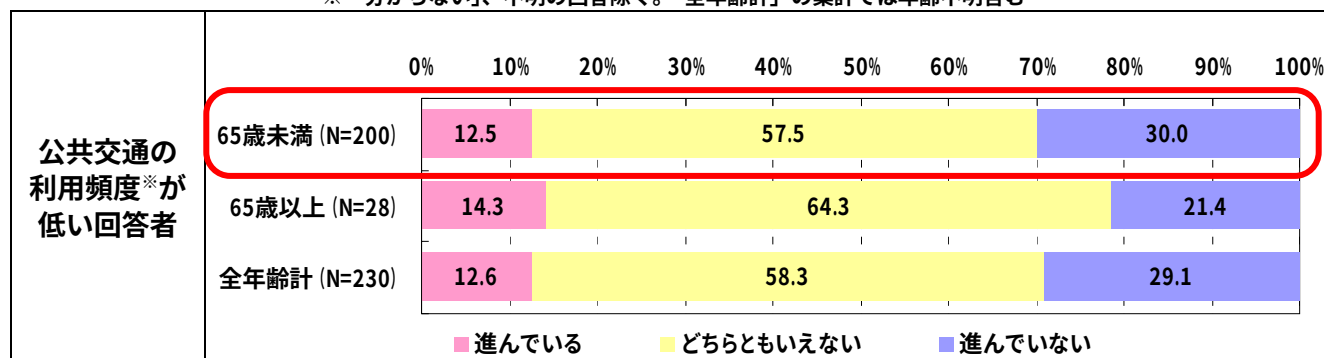
※ 2：名鉄バスは、交通事業者の実態調査の値

③ 課題

- ・公共交通の推進度に対する評価は、公共交通の利用頻度が低い 65 歳未満の年齢層ほど評価が低いことが分かった。

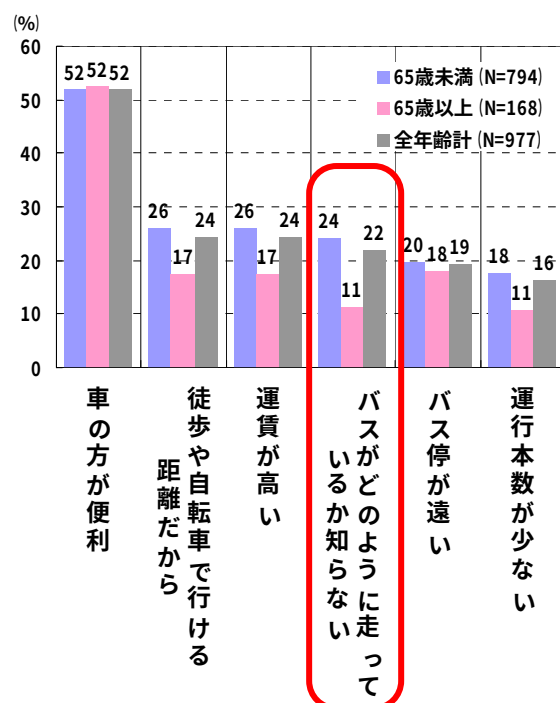
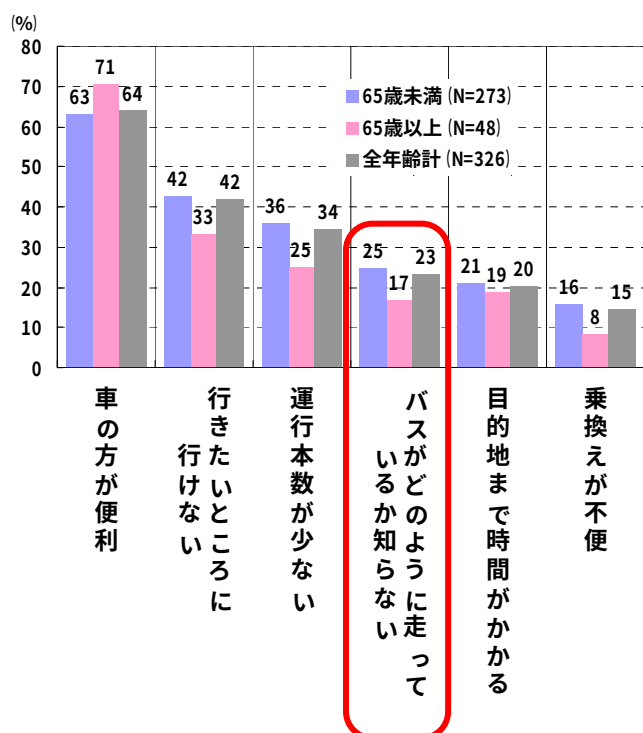
公共交通の推進度の回答割合（平成 23 年度住民アンケート）

※「分からない」、不明の回答除く。「全年齢計」の集計では年齢不明含む



※公共交通の利用頻度について

- ・低い場合：月 1～2 日、または年数回の利用の回答者を抽出
- ・公共交通を利用しない理由として、周知・広報活動の強化を行ってきた中でも、Nーバスと名鉄バスでは「バスがどのように走っているか知らない」が上位に位置していた。
- ・リニモでは「最寄り駅までの遠さ」「運賃の高さ」「共通で使えるカードの導入（mana）」の路線形態や経営上から改善が厳しい項目が上位に位置していた。



Nーバス（左図）及び名鉄バス（右図）を利用しない理由

(3) 今後（平成 24 年度）の方向性

- ・昨年度からは、周知・広報活動の強化に努めてきたが、調査の結果では改善の余地があることが把握できた。
- ・Nーバスや名鉄バスでは、軽微なものも含めて連携計画の計画期間中に2回の再編（見直し）を実施してきたところであるので、平成 24 年度は現在の路線形態で運行し利用者の定着を図りながら、利用促進策の強化に努めていくこととした。

2-2. 平成 24 年度の取り組み

(1) 実施事業

平成 24 年度は、2つの事業の取り組みを行った。

① 周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・長久手市の公共交通について、市民に周知を行うために、市民、利用者目線の広報資料として、かわら版を作成する。

② 利用促進策の検討

- ・今後の長久手市に必要と考えられる短期的な取り組み可能施策について検討を行う。

(2) 協議会の開催状況

- ・平成 24 年度については3回の協議会を開催し、実施事業に関する協議を行い、合意形成を図りながら進めた。

会議開催日	協議内容
＜第 20 回会議＞ 平成 24 年 6 月 21 日(木)	・平成 23 年度長久手市地域公共交通会議決算（案）について ・生活交通ネットワーク計画（案）について ・周知広報事業について ・平成 23 年度地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会結果報告について ・市内公共交通の平成 23 年度、24 年度 4・5 月の実績について
＜第 21 回会議＞ 平成 24 年 10 月 19 日(金)	・周知広報事業〔(仮称)ながくて公共交通かわら版創刊準備号〕について ・平成 23 年度地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会結果報告について ・長久手中央土地区画整理事業地内駅前広場について ・市内公共交通の 6 月からの実績について
＜第 22 回会議＞ 平成 25 年 3 月 26 日(火)	・周知広報事業〔(仮称)ながくて公共交通かわら版創刊号〕について ・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案 ・平成 25 年度事業計画案、予算案 ・市内公共交通の平成 24 年度 10 月からの実績等について

(3) 平成24年度事業の取り組み

①周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・今年度は2回の発行を行うこととした。

1) 創刊準備号

- ・第1号は事前周知を図ることを目的として「創刊準備号」と位置付け、11月中旬から下旬にかけて、回覧で市民への周知を行った。あわせて、Nーバス、名鉄バス車内やリニモ駅、主要公共施設や大学などに配布し、また市ホームページへの掲載を行い、周知を図った。
- ・創刊準備号では、発行の目的のほか、かわら版タイトルや市民協力者の募集を行った。

【市民協力者の募集結果】

- ・3名の応募があり、創刊号の作成に協力をいただいた。

【かわら版タイトルの募集結果】

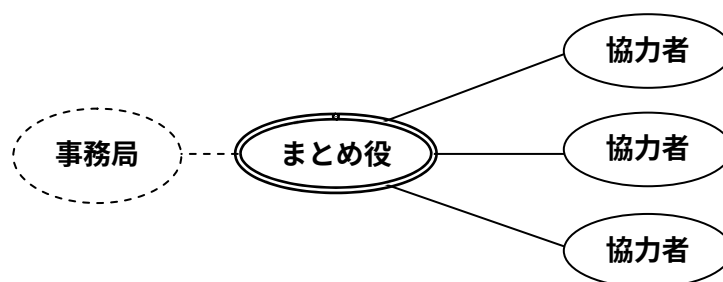
- ・27作品の応募があり、公共交通会議委員の投票を得て『
』に決定した。

2) 創刊号

- ・3月の発行を目指して、市民協力者が主体となってテーマの設定、及び取材・執筆活動を行い、事務局が原稿作成、印刷を支援する形で作成を進めた。

【かわら版作成の将来構想】

- ・かわら版の作成は、平成25年度以降も継続する予定である。
- ・当面は事務局が諸費用や作業支援を行いながら継続していき、将来的には事務局は最低限の関与に留めて、市民サポーターなどの独立組織に作成主体を移行し、協賛金などを得ながら原稿作成経費や印刷費をまかなって、継続していく体制づくりを目指す。



② 利用促進策の検討

- ・今後の長久手市に必要と考えられる短期的な取り組み可能施策について他市町の事例を参考にして整理した。
- ・過年度のアンケート調査から意見を抽出すると以下のようにまとめられ、短期的な取り組みとして、今年度は主に情報発信に関する施策を行った。
- ・バスロケーションシステムについては、次年度での導入を予定する。
- ・一方で、関係者と調整の上で取り組みが必要な施策もあり、今後、検討が必要となる。

施 策		内 容	短期の取り組み
情報発信	公共交通マップ作成	・具体的な地図上にバス停があると、利用しやすくなる。	・従来のタウンガイドマップに公共交通情報を盛り込む形で作成し発行済み
	バスマップ・時刻表	・Nーバスの時刻表の見方がよくわからない。	・駅すばあとコミュニティバス探索サイト「コミたん」へ登録済み
	適切な情報提供	・利用の仕方が分かりづらい。 ・Nーバスの乗継方法が分からない。 ・乗継路線や時刻を調べるのが大変面倒。乗継時間の計算が複雑なので利用しない。	・かわら版の作成 ・広報紙にNーバス独自の情報掲載 ・Nーバスの一部バス停にポケット時刻表の設置
	積極的 P R	・Nーバス、名鉄バスはもう少し積極的に P R しては。 ・Nーバスの広報をもっとすべき。 ・Nーバスのイベントをして。 ・イベント時にNーバスの利用時刻を具体的に知らせる。	・イベント時におけるNーバスマップ、グッズの配布 ・リニモ、名鉄バスの運行計画変更案内のチラシ作成、及び広報紙への案内掲載 ・リニモウォーキングと連携してバスの車両展示や写真撮影会の開催 ・リニモ経営状況等の P R のため「市政まなび舎」の開催
利用しやすさ	隣接市の情報提供	・他のコミュニティバスの時刻表も分かるようにすると乗継しやすい。ルートも分かるとなおよい。	・市役所情報コーナーに隣接市の路線図、時刻表の提供済み
	隣接市との連携	・隣接市のコミュニティバスとの接続をより充実させてほしい。	・愛知医大、長久手古戦場駅で乗り入れを実現 ※一層の周知が必要
	バス停以外からの利用	・どこからでも自由に乗れるようにして欲しい。	・福祉有償運行に関する協議を開催
運賃割引サービス	商業施設との連携による割引サービスの展開	・リニモやNーバスの利用によるポイントや割引サービスの付与 ・乗客増につながるポイント制導入など、市の活性化とのリンク	・公園西駅に立地予定商業施設事業者と連携を検討中 ※関係者と調整の上での取り組みが必要
	乗継割引の実施	・地下鉄、リニモ、Nーバスの乗り継ぎ割引の検討	※関係者と調整の上での取り組みが必要
設備面の充実	バス停へのベンチ・上屋などの設置	・ベンチ、雨や日差しを避ける屋根があると良い。	・長久手古戦場駅に加えて、杣ヶ池公園駅北・南口へ新たに設置
	バスロケーションシステム	・バスの位置が分かるようにして。 ・到着予定時刻を伝えられるシステムがあると便利。	・名鉄バスの名古屋営業所管内での導入計画にあわせてNーバスへの導入を検討
まちづくり		・リニモやバス停近くに、商業施設や学校を誘致	・長久手古戦場、公園西駅近辺に商業施設立地予定 ※関係者と調整の上での取り組みが必要

おしよ

増加しています！N-バス利用者

カラフルな車体と路線に彩られた車体で、わたしたちのまちを駆け巡るN-バス（長久手市巡回バス）は、まもなく運行15周年を迎えます。この15年の間にルートなどの再編により頻りに利用する人も増え、市民に定着したと受け入れられ、その利用方法が定着してきたのではないのでしょうか。

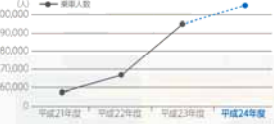
N-バスのこれまで

N-バスの始まり

N-バスは、平成10年7月から運行が開始されました。当初の運行目的は、
①「市内交通の空白地域の解消」
②「公共施設の利便性の向上」
③「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加の促進」
でした。

このときは、市役所を起点とする4ルートで2台のバスで交互に運行するものでした。
当初はまだリニモも開通しておらず、市内の主要な交通は、名古屋市の東が丘と瀬戸方面を結ぶバスを中心としていました。市を南北方向に移動できるN-バスは画期的なもので多く市民に受け入れられました。

過去3年間のN-バス乗車人数の推移



N-バス利用者に聞いてみました

「毎日のことだから無料はありがたい」

今日は中央図書館を利用して文化の家に来ました。いつも文化の家や中央図書館へ行った時、アピタや長久手温泉まで、時には藤が丘へ買い物に行ったりするのには利用しています。
定年後、しばらくは自家用車に乗っていましたが手放しました。重い荷物を運ぶのは大変ですが（笑）。週に5日くらいはN-バスを利用します。ほぼ毎日のことだから無料（65歳以上で発行される優待カード「赤あかつか」）でN-バスは無料乗車できます！はありがたい。（60代女性）

もっと便利に暮らすことを目指して

平成17年に、愛・地球博開催と共にリニモが開通、市内にはリニモを基軸とした新たな公共交通の利用の仕方が生まれました。
このときのN-バスは1ルートあたりの乗車時間が長く、一方（片回り）の運行しかなかったため、一度乗車すると、乗車時間がかなり長くなってしまっていました。

平成16年4月に④「子育て支援」
平成21年4月に⑤「通勤・通学の利便性の向上」
を運行目的に加えて、さらに便利になるような工夫を試みてきました。
そして、平成21年9月には5つの運行目的と再編方針に基づいて、大きくルートの再編を行いました。

【再編の方針】
①「1ルートの乗車時間をできるだけ短くすることで運行本数を増やし、同時に、待ち時間の短縮を図る。」
②「中央図書館を双方向運行とし、市役所と市内の主要なリニモ5駅とを結ぶことで自分の行きたい方向のバスに簡単に乗り換えができる。」

その結果、利用者が順調に伸び続け、平成24年度は年間利用者が20万人を超える見込みです。

市民の皆さんはN-バスをどのように利用しているのでしょうか。話を聞いてみました。

「子ども会でモリコロパークへ行きました」

子ども会でモリコロパークへ行きました。愛・地球博記念公園（バス停）からモリコロパークへ遊びに行きました。子どもが多いので、車で一度に全員を運びきれませんが、N-バスなら大丈夫。もちろん、子どもは無料で乗車できるし、子どもたちは普段通らない、自然豊かな集落地帯をN-バスが通ったので、市内を探索する気分が楽しかったです。（30代女性）

【乗車無料となる人】

1. 小学生以下の人
2. 長久手市に在住し、長久手市に在住する人（長久手市に在住する人）
3. 長久手市に在住し、長久手市に在住する人（長久手市に在住する人）
4. 長久手市に在住し、長久手市に在住する人（長久手市に在住する人）
5. 長久手市に在住し、長久手市に在住する人（長久手市に在住する人）

意外と便利！N-バスの利用方法

便によっては、路線名が変わるだけで同じ車両に乗ったまま、乗り換えなしで市内を移動することもできます。

思ったまま別ルートへ

【コース1】

福祉の家から藤が丘へ
市東部地域から藤が丘まで行くことができます。

【コース2】

愛知大から福祉の家へ
東部線を利用して愛知大へ行ったときの帰りに利用できます。お昼や買い物に便利です。

【コース3】

福祉の家から池田公園へ
市東部地域からグリーンロード沿線の商業施設へ行くことができます。

福祉の家	市役所	市役所	藤が丘
3便 8:44	→ 8:50	1便 9:00	→ 9:15
8便 12:44	→ 12:50	3便 12:50	→ 13:05
12便 16:24	→ 16:30	6便 16:40	→ 16:55
15便 18:14	→ 18:20	7便 18:30	→ 18:45

福祉の家	市役所	市役所	池田公園
4便 9:39	→ 9:45	3便 9:55	→ 10:02
6便 11:29	→ 11:35	4便 11:45	→ 11:52
8便 13:31	→ 13:35	5便 13:55	→ 14:02
11便 15:29	→ 15:35	6便 15:45	→ 15:52

【コース2】

愛知大から福祉の家へ
東部線を利用して愛知大へ行ったときの帰りに利用できます。お昼や買い物に便利です。

【コース3】

福祉の家から池田公園へ
市東部地域からグリーンロード沿線の商業施設へ行くことができます。

愛知大	市役所	市役所	福祉の家
4便 12:13	→ 12:18	7便 12:20	→ 12:24

もう一つ

1回の乗り換えが必要ですが、午前中に市役所方面から市役所方面へ行く方法も紹介します。

乗車料

乗車料は無料です。

N-バスの運賃は100円 支払いはマナカで

支払いにはマナカカード（乗車券）が使用できます。また、N-バス利用者で運賃の支払いに4割以上利用している人がマナカカードを利用しているのです。

カード1枚で現金や他のバスも利用できるのも、N-バス利用のみなさんは、市内の移動だけでなく、通勤や通学、買い物などにN-バスを乗り継いで他の公共交通機関をかしこく利用しているといえます。

★利用方法はとっても簡単。カードでタッチするだけで！
小孩を利用する必要はありません。

※マナカ（マナカ）は、N-バス以外でも、名鉄バス（株）、名古屋鉄道（株）、名古屋交通局（地下鉄及びバス）などで使えます。
※平成25年3月23日（土）から、マナカが全国でも利用できます。



【利用方法】
乗車時に、乗車口に設置してある読み取り部にタッチしてください。降車時には、運賃箱に設置してある読み取り部にタッチしてください。

あわりに

さて、いろいろな利用方法を紹介しましたが、いかがだったでしょうか。ちょっとだけ興味が出てませんか。これから乗る人も増えます。N-バスに乗って市内を巡ってみませんか。今回紹介した以外にも、みなさんが知っている便利な使い方をぜひ紹介してください。

表面

かわら版創刊準備号

裏面

公共交通をみんなで使って、みんなで支えるために！

長久手市内の公共交通に関するかわら版発行のお知らせ

市民がつくる情報誌

創刊号は3月発行予定！

伝える魅力

募集

親しみやすい「かわら版」のタイトルを考えてみませんか。
「かわら版」に記事を書いてみませんか。

長久手市内の公共交通は、リニモ、名鉄バス、N-バスや、他の自治体が運営するバスが一部市内に乗り入れるなど、様々なタイプの公共交通が走っています。これらの公共交通について、多くの市民の方々に知っていただき、便利に、お得に利用していただけるように、「（仮称）かわら版」を発行することとしました。利用者の目線、公共交通に関する情報を提供していくため、市民の皆さんから、かわら版の作成にご協力いただける方を募集します。

詳しくは裏面をご覧ください。

募集の内容

① かわら版のタイトル募集の案内

かわら版の創刊にあたっては、親しみやすいタイトル、または覚えやすいタイトルなど、市民の皆さんが馴染みやすいタイトルで発行したいと思っています。皆様が考える「これだ！」と思うタイトルを、応募してください。長久手市地域公共交通会議の選定委員が選びます。

選定された方には、公共交通グッズを進呈！！

■ 応募方法 以下の①～⑥をご記入の上、11月30日（金）までに、下記宛て先まで提出してください。
（電話やメールでの応募は、不可とさせていただきます。）
①氏名、②年齢、③性別、④住所、⑤電話番号、⑥タイトルとその理由
※個人情報保護法に基づき、かわら版タイトル選定以外の目的には使用しません。

② かわら版を作成する市民協力者募集の案内

市民や利用者目線の情報や記事を載せて、公共交通に興味や関心を持ってもらえるように、かわら版の記事を作成する「市民協力者」を募集します。かわら版の記者になりたいと希望する方は、ぜひ応募してください。

■ 募集人数 5人程度（予定人数を超えた場合、書類選考により選定する場合があります。）
■ 対象 市内に在住の方
■ 内容 平成25年3月に発行を予定します。
・発行サイズはA3サイズ（この創刊準備号の2枚分の大きさ）の予定です。
・テーマの設定、取材、執筆、写真撮影などは、原則、市民協力者で進めていただきます。
・会議（市）は、市民協力者の要望に応じて、取材調整、紙面への編集やデザイン化などの原稿に仕上げるための支援などを行います。
・印刷は会議（市）で行います。

■ 任期 平成25年3月31日まで
■ 活動支援 薄給を進めたいです。（取材に必要な交通費などを含めた一定額）
■ 応募方法 11月30日（金）までに、所定の応募用紙をご記入の上、下記宛て先まで提出してください。応募用紙は、担当課窓口で配布するほか、市のホームページからダウンロードできます。
（電話やメールでの応募は、不可とさせていただきます。）

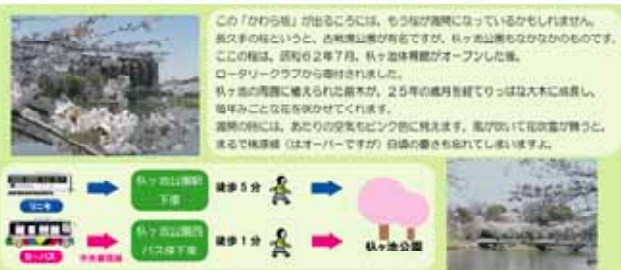
あて先 問合せ先 〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地1
長久手市企画部企画政策課 長久手市地域公共交通会議 事務局
TEL 56-0600（直通）、FAX 63-2100 担当：小田

平成24年11月 制作・発行：長久手市地域公共交通会議

表面

長久手の桜 おすすめスポット

記事をもとに事務局で編集



この「かわら版」が出るころには、もう桜が満開になっているかもしれません。長久手の桜というと、古戦場公園が有名ですが、秋ヶ池公園もなかなかのもので、ここは、昭和42年7月、秋ヶ池体育館がオープンした後、ロータリークラフターが咲きました。秋ヶ池の両側に植えられた桜木は、25年の歳月を経て今は大木に成長し、毎年このころ花を咲かせてくれます。満開の時には、あじの空もピンク色に見えます。花びらが風に舞うと、まるで桜雨（はなふり）ですが、白粉の香りが漂ってしまいます。

長久手市内を移動する手段は？
車やバイクが多いと聞きます。リニモやN-バス、路線バスをうまく組み合わせると、いろいろなところへ行けることができますよ。でも、方法がイマイチわからないというために「こんなものがあります。」
市からは、長久手の名所や四季折々の見どころが載っている冊子が発行されています。（市役所や公民館で配布しています）
（市のホームページでも閲覧できます）

シティガイドマップ 長久手

長久手市の公開施設や公園として、自然環境・公園など大きな公園とともに紹介されています。最寄りのリニモの駅やN-バスのバス停が書いてあるので、行き方も分かります。

NAGAKUTE2012 長久手観光交流マップ

観光スポット、体験スポット、歴史イベント、グルメからおみやげまで、情報盛りだくさんのガイドブックです。シティガイドマップと合わせるとより便利です。

N-バスと各市のマップ&時刻表

「愛知医大」には、「愛知市の3つにN-バス」。
「尾道市」には、「長久手市と尾道市」には「尾道市と尾道市」にそれぞれ乗換ができます。おのれが書いてあります。

一日ゆっくり長久手めぐり...
こんな日も楽しいと思います。

乗換の時刻がうまく行くか確認が必要ですが、乗換をしない日や、乗換がうまくいかなかったら、乗換を試してみてください。

ここで紹介した資料は全て長久手市役所に用意してあります。ご紹介した以外にもいろいろ資料があります。ぜひ活用して、N-バスなどの公共交通をいっぱい利用してくださいね。

タイトルに込められた意味は...

創刊号

長久手市の公共交通に関する新しい情報誌

はじめまして！長久手市の新しい情報誌「〇〇〇〇」です。公共交通をみんなで支えるため、様々な情報をお届けしていきます。創刊号の今回は、3名の市民協力者の支援のもと、N-バスの乗車体験、桜のおすすめスポット、利用ガイドの資料などを紹介しています。皆様もご利用の際の参考にしてください。

「〇〇〇〇」は、今後も定期的に発行していきます。（次は秋頃を予定）
N-バスのほか、リニモ、名鉄バス、その他市内の公共交通に関する様々な情報を、利用者・市民目線で情報を提供していきますので、次回以降もご期待ください。

【長久手市地域公共交通会議 事務局からのお知らせ】

- お礼
この情報誌のタイトルは、数多くの応募の中から会議委員により選定致しました。多数の応募をいただきまして、ありがとうございます。
- 新たな市民協力者の募集
今年も、「〇〇〇〇」の記事を作成する「市民協力者」を募集します。希望する方は、ぜひ応募してください。
- 募集人数 3人程度
- 対象 市内在住、在勤、在学の方
- 発行回数 平成26年3月までに2回の発行を予定しています。
- 任期 平成26年3月31日まで
- 活動支援 報酬を差引いたします。（取材に必要な交通費などを含めた一定額）
- 応募方法 4月30日（火）までに、所定の応募用紙をご記入の上、下記まで先まで提出してください。応募用紙は、担当窓口で配布するほか、市のホームページからもダウンロードできます。

◆問合せ◆
〒480-1198 長久手市佐作町の内 60 番地
長久手市企画部企画課 長久手市地域公共交通会議 事務局
TEL 56-0600（直通）、FAX 63-2100

平成25年3月 制作・発行：長久手市地域公共交通会議

裏面

N-バスに乗ってみた！

記事をもとに事務局で編集

N-バスって何？

「N-バス」、初めて聞いたとき、「なんじゃ？」と奇異な感じを受けた。しかし、世間ではJRとか、JAとか、いっしょにそんな風な言葉が飛び交っていることが分かって、長久手も進んだんだと思った。

普段の生活でN-バスは、別世界の存在だった。しかし母親を病院へ送り迎えをしているうちに、何となく目につくようになって来た。『便利かな』『乗れるのかな？』と思っていただけ、なかなか実行には至らなかった。が、本職をききかけに「乗ったかな？」ということになった。

計画開始！

さて、いざ乗る段になったら、まず困ったことに、いくつかコースがあるみたいで、どこに行きたいのかさっぱり？バス停で見ても複雑で、「どうしてこんなにいくつかコースがあるの？」という感じで、母より自分が分からん状態だった。

とにかく乗ることにしたら話にならないので、まず目的を決めたいかん。我が家は「ござらっせ」のそば、一度イノリの「花しょうぶ」屋敷に行ったらかな。と思い立った。「花しょうぶ」へは、「ござらっせ」からどうやって行けばいいの？市の役所では、N-バスの乗換を道路マップに記したものが載っている。名付けて「**N-バスマップ**」！

向かうは「丁子田」！自宅近くの「福祉の家」からは3つのコースが考えられ、最短距離を選択！

10:34 福祉の家 → 10:40 市役所 → 10:42 市役所 → 10:52 愛知医大 → 11:19 丁子田 → 11:26 丁子田

午前中に通念に入れた！

帰るのも同じように調べて、計画はできた。次は実行だ！

誰でもできる！

実際にバスに乗って奥さんと「花しょうぶ」へ行って来た。ちゃんとうまくいった！事前にきちんと計画を立てて事を始めれば、誰でもできるんだなと思った。

そして、大いに役立つのは、「**N-バスマップ**」だ。これがあれば、鬼に金棒である。一度行くことができれば、次からはそれほど難しくはないはずだ。ところで「花しょうぶ」も「ござらっせ」に負けず良かった。運転しないので、飲めたい！ けど、やっぱり「ござらっせ」が落ち着くなあ。

乗換えを体験

記事をもとに事務局で編集

藤が丘まで歩くのも大変...

以前は我が家から最寄りの「JA西支店」から乗換えなしで「愛知医大」に行けたのに、今は途中の「市役所」で乗換えしないといけない。あのバスまで待たないといけないので、不便になったと思っていた。

今は藤が丘まで歩いて、運行本数が多い愛知医大の無料バスで通院している。でも、藤が丘まで徒歩30分、歩くのも大変だ。

そこで、改めてN-バスで行けるかどうか考えてみた。11時の診察時間までに到着するN-バスを探す。

行先は、最寄りのJA西支店からは乗ると...1時間も早く着いてしまう。

ルートを探す

JA西支店バス停 9:21 → 市役所バス停 9:32 → 市役所バス停 9:47 → 愛知医大バス停 9:50

N-バスマップを眺めると、我が家の近くに西支店の「西橋田橋」バス停があることを発見。しかも愛知医大まで乗換えなしで行ける。→このルートに決定！

西橋田橋バス停 10:09 → 愛知医大バス停 10:28

10:09 お昼過ぎになる。最寄りの「JA西支店」で降りようとする...乗換の待ち時間が長い。

愛知医大バス停 12:15 → 市役所バス停 12:16 → 市役所バス停 12:50 → JA西支店バス停 13:11

では、「西橋田橋」で降りようとする...市役所での待ち時間が少なくなっそう。→このルートに決定！

愛知医大バス停 13:40 → 市役所バス停 13:40 → 市役所バス停 13:55 → 西橋田橋バス停 14:09

実際に乗ってみた！

乗換える市役所バス停にはベンチも屋根もある！藤が丘まで歩くことと比べれば楽かもしれない。

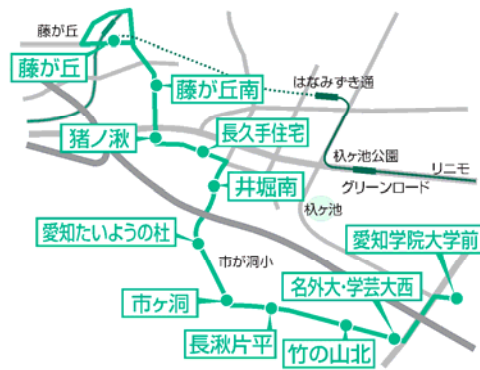
マップを眺めると、新たなルートの発見があるかもしれません。皆さんも、一度ご覧になってみてください。

4 **1** 目 **市が洞地区—藤が丘の**
から **便数が倍増** **名鉄バス**

問合先 企画政策課(☎56・0600)

市が洞地区を通る名鉄バスはこれまで、藤が丘から日進を
經由して星ヶ丘に行くルートがありましたが、4月1日から、藤
が丘から愛知学院大学に行くルートが加わります。

これによって、市が洞地区と藤が丘をつなぐ便数がこれまでより増えます。ダイヤ等の詳細は、名鉄バス(株)名古屋営業所(☎62・7677)へ問い合わせてください。



名鉄バスが3月21日の中日新聞折込で沿線13,000世帯に配布した名鉄バス作成のチラシ

平成24年

4

1

日

新路線 運行開始!

名鉄バス

www.meitetsu-bus.co.jp

藤が丘～岩根～星ヶ丘

新設

藤が丘～名外大・
学芸大西～

愛知学院
大学前

通勤・便利!

地下鉄
有明駅まで

愛知たいようの丘から 約13分
市ヶ岡から 約14分

通学・便利!

名外大学大
学芸大西まで

愛知学院大
学前まで

愛知学院大
学前まで

名外大学大
学芸大西まで

愛知学院大
学前まで

名鉄バスでは **manaca** 利用出来ます。

manacaとは、名古屋メトロのICカードです。manacaは、
ICカード乗車券の機能に加え、ICカードチャージ機能も
兼ねて利用出来ます。

- manacaにチャージしてご利用ください。
- manacaにチャージしてご利用ください。
- manacaにチャージしてご利用ください。
- manacaにチャージしてご利用ください。

●manacaのチャージ方法はこちらをご覧ください。

藤が丘～岩根～星ヶ丘 停留所・運賃表

藤が丘発着運賃		停留所																		星ヶ丘発着運賃			
距離	運賃	藤が丘	有明	市ヶ岡	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	星ヶ丘	距離	運賃
0m	0円	藤が丘	有明	市ヶ岡	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	市ヶ岡西	市ヶ岡東	市ヶ岡南	市ヶ岡北	星ヶ丘	0m	0円
100m	100円																					100m	100円
200m	200円																					200m	200円
300m	300円																					300m	300円
400m	400円																					400m	400円
500m	500円																					500m	500円
600m	600円																					600m	600円
700m	700円																					700m	700円
800m	800円																					800m	800円
900m	900円																					900m	900円
1000m	1000円																					1000m	1000円
1100m	1100円																					1100m	1100円
1200m	1200円																					1200m	1200円
1300m	1300円																					1300m	1300円
1400m	1400円																					1400m	1400円
1500m	1500円																					1500m	1500円
1600m	1600円																					1600m	1600円
1700m	1700円																					1700m	1700円
1800m	1800円																					1800m	1800円
1900m																							

[illegible]

リニモ早春ウォーキングと名鉄バスと連携した企画案内



愛知海陸資料館 企画展「陶家の発掘と制作! 清水六兵衛家 一京の華やき」開催中! 開催時間: 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで) 約240年にわたる歴史を持つ清水六兵衛家の中部地方初の大規模な歴史展です。清水六兵衛家の全面的な協力を得て、初代から八代(当代)までの作品を大規模に紹介します。 ★このマップを提示すると、観覧料が割引となります。 大人600円⇒480円、高大生500円⇒400円(中学生以下無料)	介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～ 介助犬総合訓練センターは平成21年5月にオープンした全国唯一の介助犬専門訓練施設です。 本日は、普段は見る事ができない施設内を見学することができる年1回の「オープンハウス」が開催されます。(午前9時30分から11時30分までウォーキング参加者のみ見学できます。)ぜひお立ち寄りいただき、介助犬への理解を深めませんか?とさせていただきます。なお、当日はチャリティグッズやコーヒー、クッキー等の販売も行います。
知の拠点あいち あいち産業科学技術総合センター 知の拠点あいちは、愛・地球博の会場跡地に整備され、付加価値の高いモノづくり技術を支えるための研究開発拠点です。 本日は「サイエンスフェスタ」が開催され、鉄人28号らによるロボットショー(11時30分から4時00分)や無料参加の工作教室(11時30分受付開始、先着180名様まで)が実施されます。	瀬戸市デジタルリサーチパークセンター 「せと・まるっとデジタルまつり」開催! 開催時間: 午前10時～午後4時 ※入場無料 瀬戸市デジタルリサーチパークセンターではお楽しみ企画いろいろの「せと・まるっとデジタルまつり」が開催されます。 ※入場無料 ※内容 ・PLAY!AICHI特派員OS☆Uのミニライブをはじめとしたライブステージ ・中京テレビ中継車の内部見学 ・タブレット端末を使ったお楽しみ抽選会 ・体験型ゲーム「キネクト」体験 ・瀬戸焼そばやホットコーヒーの販売 ★このマップを提示すると、瀬戸焼そばが割引となります。 瀬戸焼そば 400円⇒350円
愛知高速交通株式会社 3月6日に開業8周年を迎えるリニモ。本日は開業8周年を記念して愛知高速交通株式会社で楽しい企画が開催されます。 ※内容 ・リニモ車両基地をご覧いただけます。 ・リニモオリジナルグッズ特別販売 ・名鉄バス車両展示、写真撮影会	START デジタルリサーチパークセンター <チェックポイント> 愛知高速交通 <ゴール> 2月23日・3月28日 2月23日(日) 15:00～17:00 3月28日(日) 10:00～12:00

名鉄バスの車両展示や写真撮影会などのPR活動実施状況



(4) 評価

① 連携計画の目標達成度

- ・公共交通利用者数の目標は、リニモとNーバスは前年度から引き続き増加傾向で推移して達成しており、名鉄バスは未達成となっているものの、利用者数は前年度と比べて増加している。市全体の合計利用者数は、目標を達成している。
- ・公共交通の推進度は、前年度に続いて未達成となった。
- ・公共交通転換者については、連携計画最終年の平成 25 年度に最終評価を行う。

指 標 目 標	現 状 (平成 20 年度基準)	平成 24 年度	評 価
【指 標】 公共交通 利用者数 【目標値】 現状の 10%UP	リニモ 約 16,500 人/日平均	約 19,100 人/日平均 ^{※2} (15.8%アップ)	達 成 (前年度比 3.0%アップ)
	名鉄バス 2,240 人/日平均	2,222 人/日 ^{※3} (0.8%ダウン)	未達成 (前年度比 5.0%アップ)
	Nーバス 約 450 人/日平均	約 550 人/日平均 ^{※2} (22.2%アップ)	達 成 (前年度比 3.2%アップ)
	合計：参考値 約 19,190 人/日平均	約 21,872 人/日平均 (14.0%アップ)	(達 成) (前年度比 3.0%アップ)
【指 標】 公共交通の 推進度 【目標値】 25%未満	「進んでいない」と 回答した人の割合 28.1% ^{※1}	33.5% ^{※4}	未達成
【指 標】 公共交通 転換者 【目標値】 調査段階ご との増加	【公共交通の利用機会】 増えた：13.9% 減った：14.4% (平成 23 年度基準)	— —	連携計画最終年の 平成 25 年度に 最終評価を実施

※1：アンケート調査との選択肢の統一を図るために、出典元の長久手町住民意識調査（平成 19 年 3 月）の値から、無回答を除いた場合の比率

※2：リニモとNーバスの平成 24 年度の値は、平成 23 年度の月変動に基づいて年間換算した見込み値

※3：名鉄バスは、交通事業者の実態調査の値

※4：平成 24 年度 長久手市市民意識調査報告書（平成 24 年 12 月）より、基本施策の推進度の設問にて『公共交通機関による移動が便利である』の回答のうち、「進んでいない、あまり進んでいない」の回答割合

② 事業評価

1) 目標の達成状況について

【評価】

- ・昨年度にバスマップ・ポケット時刻表の配布、駅すばあとコミュニティバス探索サイト「コミたん」へ登録など市ホームページの更新、Nーバス見直しや名鉄バスの新設路線の案内の広報紙への掲載、市役所の情報コーナーへの路線バスや隣接市のバス時刻表設置などを行い、リニモ、Nーバスの利用者数については、平成 23 年度に引き続き増加傾向で推移し、「愛・地球博」以降で過去最高を記録している。また、名鉄バスの利用者数は平成 23 年度に比べて増加している。

【課題】

- ・名鉄バスの利用者数の目標が、達成できていない。また、公共交通の推進度の目標も、前年度に続いて未達成の状況にある。
- ・連携計画は、平成 25 年度が計画期間の最終年度となるため、平成 26 年度以降の取り組みをまとめる必要性が生じている。
- ・リニモの長久手古戦場駅と公園西駅周辺で面整備事業が進み、連携計画策定当時より都市構造が変わりつつある。

【今後の対応】

- ・連携計画の見直しに取り組み、Nーバス、リニモ、名鉄バスを一体で考えるとともに、都市構造の変化も考慮して調査を行う。

2) 周知・広報活動について

【評価】

- ・市として初めての取り組みとなる「かわら版」の作成が、3 名の市民協力者とともに取り組み、発行に至った。
- ・Nーバスでは広報紙への特集記事の掲載を行い、より一層の周知・広報に努めた。
- ・リニモでは平成 25 年 3 月 16 日のダイヤ改正を周知するチラシを作成し、名鉄バスでは藤が丘～愛知淑徳大学間の運行ルート新設を周知するチラシを作成し、新聞折り込みにより広く周知を行った。また、昨年度の調査で情報発信ツールとして広報紙の有力性が明らかになったので、市の広報紙への案内掲載を行った。
- ・リニモと名鉄バスで、イベントを連携して取り組み、より一層の周知・広報に努めた。

【課題】

- ・今回の 1 回の取り組みでは、評価できない状況にある。

【今後の対応】

- ・継続して取り組むとともに、連携計画の見直しに伴うアンケート調査の中で周知・広報活動の認知度などを検証する。
- ・これまでは、アンケート調査を中心として住民の意見の反映を行ってきたが、市民協力者による「かわら版」作成の取り組みを通じて、直接住民の声を聞く場を設けることが必要と考え、市民の意見を取り入れるためのワーキンググループを立ち上げて、市民意見を踏まえたNーバスの見直し方針を整理し、連携計画の見直しに反映する。

(4) 平成25年度の取り組み

① 連携計画の見直し

本市では、「地域公共交通総合連携計画」を平成21年10月に策定した。

計画期間は、平成25年度が最終年となる。

平成26年度以降は、リニモの長久手古戦場駅と公園西駅付近において土地区画整理事業が進み、今後交通流動が変わることも見込まれることから、市内の公共交通を一体で考えて、新たな土地利用に対応した計画の策定を行う。

- ・市内公共交通の現状及び課題の把握
- ・連携計画の見直し

② Nーバス検討ワーキンググループの開催

計画策定の段階から、市民の意見を取り入れることが的確にニーズへの対応を図る上では重要と考え、市民の意見を取り入れるためのワーキンググループを開催して、市民意見を踏まえたNーバスの見直し方針を整理し、連携計画の見直しに反映させる。

- ・Nーバス検討ワーキンググループ開催
- ・Nーバスの見直し方針整理

調査項目①、②については、国の補助事業を活用して行う。

③ 利用促進策の実施・検討

平成24年度に引き続き、平成25年度においても「かわら版」の発行を継続するため、市民協力者の募集や作業支援を行う。あわせて、その他の周知・広報活動についても関係者と連携して進める。

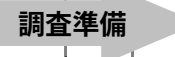
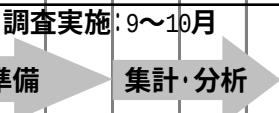
また、上記のワーキンググループのメンバー、又は活動グループを別途募集して、住民、利用者の視点からの利用促進活動について取り組みを行う。

調査項目③については、国の補助制度創設の動向を見ながら、補助事業の活用を予定

④ バスロケーションシステムの導入

運行委託事業者である名鉄バスが進める名古屋営業所管内でのバスロケーションシステムの導入について、Nーバスについても導入を図るための調整を行う。

平成25年度のスケジュール案

作業項目	平成25年										平成26年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 市内公共交通の現状把握													
(2) 利用実態調査 利用者・市民アンケート													
(3) 課題の整理													
(3) Nーバスの見直し方針整理													
(4) 連携計画の見直し													
(5) 利用促進策の実施・検討													
(6) バスロケーションシステムの導入													
ワーキンググループ (5回予定)				○		○		○		○		○	
会 議 (5回予定)	○		○			○			○			○	